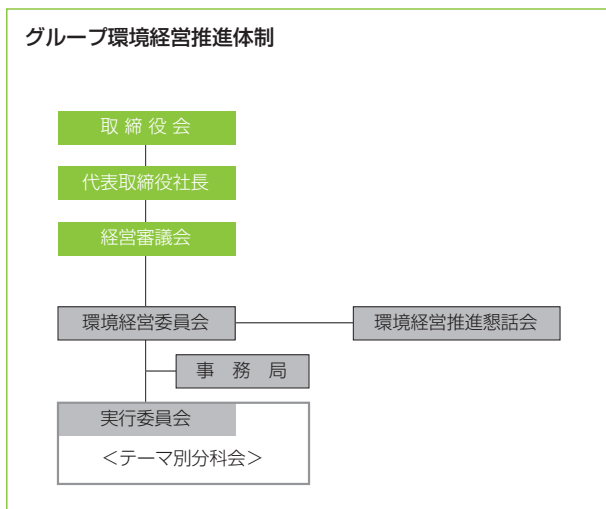


環境経営の推進

神戸製鋼グループは、すべての生命体を育む健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針と6つの実施事項を策定。事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。6つの実施事項を検討・提言する機関として「環境経営委員会」を設置し、グループの全従業員が参画する環境経営で「環境先進企業グループ」を目指します。



環境経営基本方針

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

- ① 環境に配慮した生産活動
- ② 製品・技術・サービスでの環境への貢献
- ③ 社会との共生・協調

を实践することにより、社会的責任を果たすとともに、環境力を高め企業価値を向上させる。

「グループ環境経営の实践による更なる企業価値向上」

(グループの環境力向上)

6つの実施事項

- 1 あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底
 - 地球温暖化対策
 - 資源循環の促進
 - 化学物質の適正管理
 - 環境負荷の低減
- 2 製品・技術・サービスでの環境への貢献
- 3 環境関連情報の開示
- 4 社会との共生・協調
- 5 全員参加による取り組みの展開
- 6 リスク管理の徹底

神戸製鋼グループは環境経営を着実に推進していきます。

環境経営委員会委員長(専務取締役) 川崎 博也

神戸製鋼グループでは、グループ環境経営の实践による更なる企業価値の向上を環境経営基本方針に掲げ、「環境に配慮した生産活動」、「製品・技術・サービスでの環境への貢献」、「社会との共生・協調」を实践してきました。

今後は環境経営の推進とともに、地域の環境活動にも積極的に参加しながら、社会の一員として更なる企業価値の向上を図っていきたいと考えております。



コベルコ環境創造基金

当社は、2001年度より「21世紀コベルコ環境創造プロジェクト」を設立し、地球温暖化の防止や環境・生物多様性の保全につながる活動に取り組んできました。

2011年度からは、当社グループ自らの手で自然や環境にかかわる取り組みをスタートさせました。

今後も、従業員一人ひとりが参画する環境活動を推進していきます。

森林整備活動

**コベルコ
KOBELCOの森**

グリーンピア三木内の里山放置林(約2ha)を「KOBELCOの森」と名づけ、森林整備活動を始めました。森林に降り注ぐ雨は、木々の命に抱かれ、川へとつながります。私たちの鉄づくりに欠かせない、大切な水を育む木々への感謝の気持ちを強く持ち続けたい…。私たちのこの思いを実現することにしました。

この活動は、全神戸製鋼労働組合連合会が中心に取り組み、神戸製鋼グループと手を携えて行うものです。まず森の元気を取り戻すために、下草刈り・間伐・除伐といった地道な作業からスタート。自然に向き合い、自然を愛することが、人の心を育む。私たちはそう信じて、これからも汗を流し続けていきます。

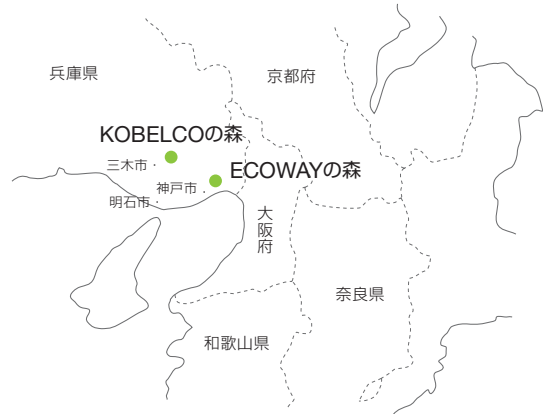
※兵庫県が推進する「新ひょうこの森づくり計画」に基づいて実施しています。



第1回森林整備活動
(2011年11月)



森開き(2011年11月)



**エコウェイ
ECOWAYの森**

神戸製鋼グループを育ててきた神戸を見守る六甲山系油コブシ(標高625.5m)周辺を「ECOWAYの森」と名づけ、このエリアで森林整備活動を始めました。六甲山系は、一時期、はげ山となり、その未来を危ぶまれながらも、いまは多彩な植生を取り戻しています。

これからもずっと、この山や森に見守られていたい、この山や森にかかわってほしい、六甲山という貴重な自然に元気でいてほしい…。そんな思いで、私たちは、生物多様性を守るための活動を続けていきます。

※国土交通省六甲砂防事務所「六甲山系グリーンベルトの森づくり」活動の一環として実施しています。

※ECOWAYは神戸製鋼グループのシンボルマークの名称です。



第1回森林整備作業(2012年4月)



森開き(2012年4月)